Garoon サイボウズ

連携方法・事例紹介付き

Microsoft 365ユーザーの情報共有を手軽に

AD連携・SSO

Outlook

Teams

はじめに

現在多くの企業で利用されているMicrosoft 365は、文書作成や表計算、Web会議、チャットなど幅広い機能を搭載しています。しかし多機能なMicrosoft 365を使いながら、別のITツールを併用する企業も存在します。

この資料ではMicrosoft 365利用者へのアンケートをもとに、なぜ別のツールを使うのか、どのような業務を別のツールで行っているのかをまとめました。また、Microsoft 365と併用されることも多いサイボウズのグループウェア「Garoon」が全社の情報共有でどのように役立つのか、Microsoft 365との連携や事例とあわせてご紹介します。

目 次

P2~4 調査コラム
Microsoft 365利用者アンケートから考える 複数のシステムを併用するという選択

P5～6
情報共有の課題を解決する サイボウズのグループウェア「Garoon」

P7～8
Microsoft 365とGaroonの連携性
―AD連携・シングルサインオン・Outlook連携・Teams連携―

P9～10 事例 YKアクロス株式会社様
「kintoneと連携できるからGaroon」 セット導入で情報共有基盤を内製化

P11～12 事例 エスアールエス株式会社様
Teamsやkintoneとの連携で広がる活用、 使い続ける理由はベストオブブリード

P13～14 事例 株式会社 明電舎様
約8000人の集合知活用に向けた情報共有基盤構築へ 刷新のポイントは拡張性

Microsoft 365利用者アンケートから考える

複数のシステムを併用するという選択

ドキュメント作成やWeb会議などで利用されるMicrosoft製品。アイティメディアとサイボウズが実施したアンケート※1では、全体の72.2%が「Microsoft 365（旧称Office 365）を利用している」と回答しており、ビジネスパーソンに広く浸透していることがわかります。しかし利用状況を詳しく聞くと、すべての機能を使いこなし、Microsoft 365に業務を集約しているとは限りませんでした。なぜ別のツールを使うのか、どのような業務を別のツールで行っているのか。アンケート結果をもとにまとめました。なお、アンケートは2022年1月に「TechTarget ジャパン／キーマンズネット会員」を対象として実施し、399件の有効回答を得ました。

Microsoft 365で全てをやらないという選択肢

アンケートでMicrosoft 365利用者がどの機能を使っているのかを聞いたところ、**Office系ソフトとTeamsの利用率は80%以上でした。一方、その他の機能の利用率は80%未満です**（図1）。

また、図2中のいずれかの業務をMicrosoft 365以外のツールで行っていると回答した人は8.3%です。**91.7%はMicrosoft 365以外のツールを利用**しており、業務をMicrosoft 365で完結させていませんでした（図2）。

図1 Q. Microsoft 365で利用している機能をすべてお選びください

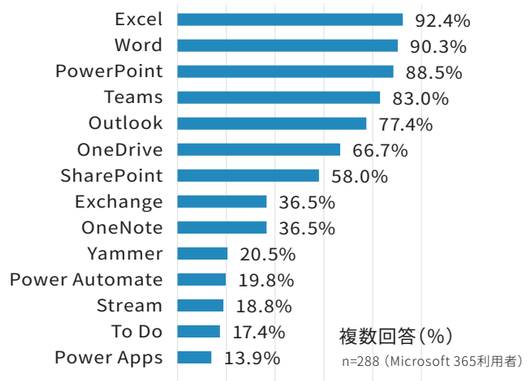
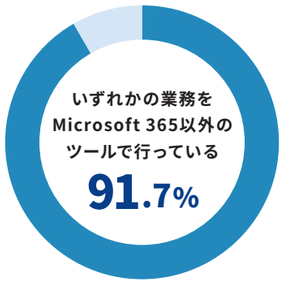


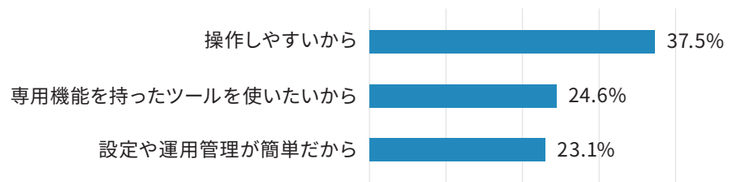
図2 Q. Microsoft 365以外のツールで行っている業務をすべてお選びください。



［対象業務］
ワークフロー
社内規程などの文書管理
掲示板・全社通達
社内ポータル・社内リンク集
施設予約
スケジュール
Web会議
ファイル共有
タスク管理・共有
社内システムのユーザー管理
メール
社内メッセージ・チャット・伝言・電話メモ
ドキュメント作成
n=288（Microsoft 365利用者）

Microsoft 365以外のツールを使う理由の上位3つは**「操作しやすいから」「専用機能を持ったツールを使いたいから」「設定や運用が簡単だから」**でした（図3）。

図3　Q. 前問で回答いただいた業務について、Microsoft 365の各機能ではなく別のツールを利用している理由をすべてお選びください

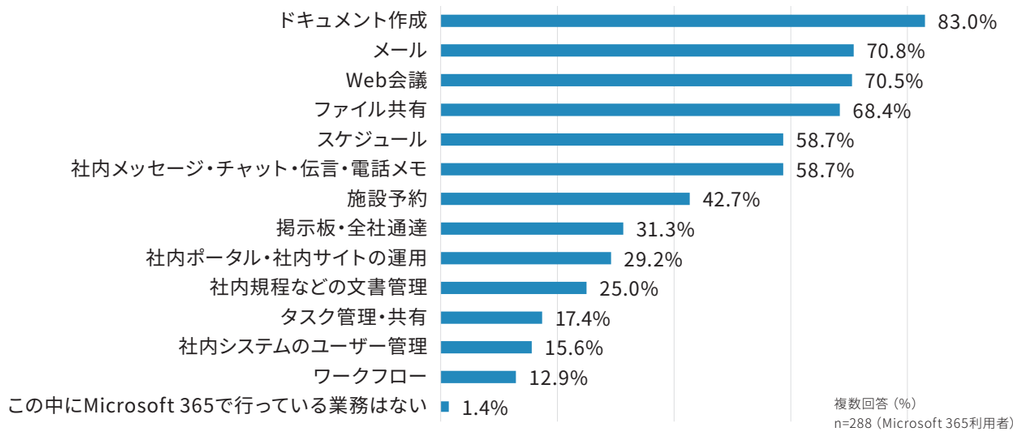


複数回答（%）n=264
（別のツールも利用するMicrosoft 365利用者）
※「その他」以外の上位3つを抜粋

他ツールを活用すべき業務とは？

では、どんな業務で他ツールを活用するとよいのでしょうか。アンケートによれば**「掲示板・全社通達」「社内ポータル・社内サイトの運用」「社内規定などの文書管理」といった全社の情報共有でMicrosoft 365を利用しているのは30%前後**でした（図4）。

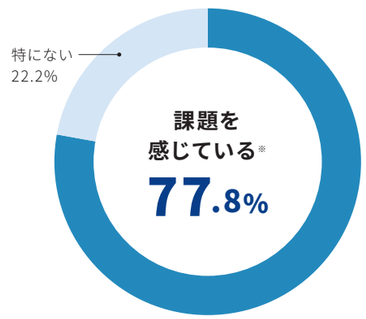
図4　Q. Microsoft 365で行っている業務をすべてお選びください。

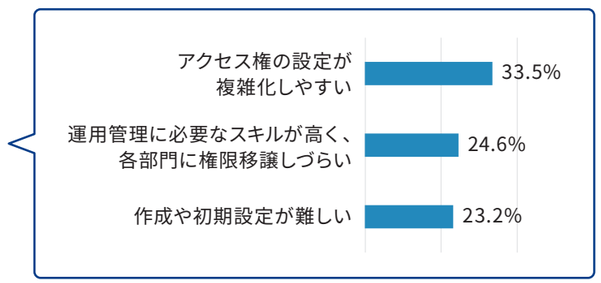


複数回答（%）
n=288（Microsoft 365利用者）

Microsoft 365に含まれるSharePointでも社内ポータルや掲示板、文書管理として運用することは可能です。アンケートでも114名がSharePointを「社内ポータル・社内サイトの運用」「掲示板・全社通達」「社内規定などの文書管理」で使っていると回答しました。しかし、そのうち**77.8%が利用時の課題を感じている**と回答。その理由の上位は**「アクセス権の設定が複雑化しやすい」「運用管理に必要なスキルが高く、各部門に権限移譲しづらい」「作成や初期設定が難しい」**でした（図5）。

図5　Q. SharePointを利用する上で、課題に感じていることがあればすべてお選びください。





※「SharePointを利用する上で、課題に感じていることがあれば
すべてお選びください。」でいずれかの課題を選択した人を算出

複数回答（%）n=167（SharePoint利用者）
「その他」以外の上位3つを抜粋

特に「アクセス権の設定が複雑しやすい」は、情報共有ツールだからこそリスクになる部分です。アクセス権を誤って設定すると、本来見せたくない人たちにも情報を公開してしまう恐れがあります。安全な情報共有の場を作るためにも、アクセス権を設定しやすい製品を選ぶことが重要です。

Microsoft製品を使いながらGaroonを導入したYKアクロス株式会社様は「社内ポータルにSharePointを利用した場合、自社開発のハードルが高く、ベンダーに依存してしまう例を見てきました。そのため、Microsoft製品への統一は業務ツールの内製化という目的に合わないと判断しました」と話します。※2

全社の情報共有にはグループウェアが便利

「掲示板・全社通達」「社内ポータル・社内サイトの運用」「社内規定などの文書管理」といった全社の情報共有をMicrosoft 365でカバーしきれない場合は、グループウェアの利用がおすすめです。グループウェアは掲示板機能、社内ポータル機能、ファイル管理機能といった情報共有に適した機能をさまざま搭載した業務システムです。国産製品であれば日本企業に合ったスケジュール機能や社内稟議に使えるワークフローを搭載していることが多く、Microsoft 365の「自社に合わない部分」をまとめて解決する一助になります。

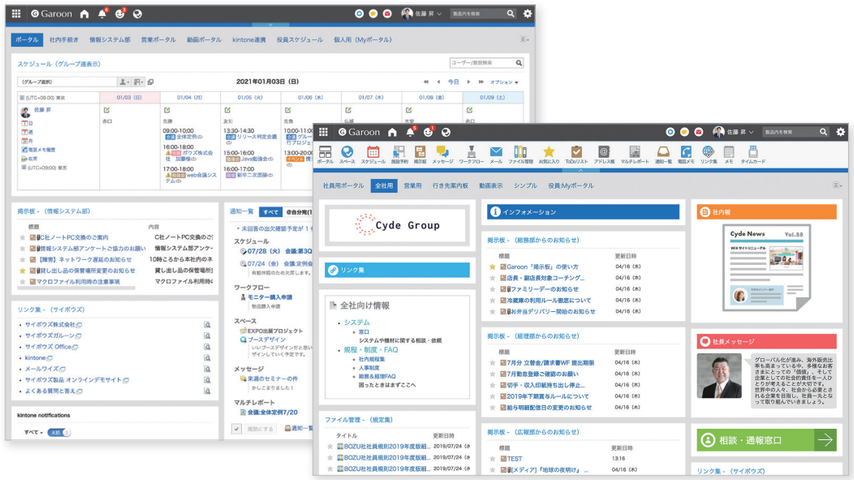
複数のツールを利用する場合、ユーザー管理や業務フロー、データ連携に懸念を感じるかもしれません。そこで重要になるのがMicrosoft 365との連携です。使いやすい全社の情報共有の機能があるだけでなく連携性の高い製品を使うことで、一元化されたユーザー管理、スムーズな業務フローやデータ連携が可能になります。

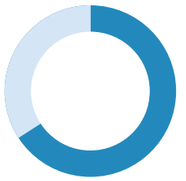
※1 サイボウズ／アイティメディア『Microsoft 365とGoogle Workspaceについてのアンケート』（2022年1月、N=399）
※2 YKアクロス株式会社 Garoon導入事例（https://garoon.cybozu.co.jp/mtcontents/cases/yk-akros/）

NEXT　Microsoft 365と連携できるグループウェア「Garoon」をご紹介

情報共有の課題を解決する

サイボウズのグループウェア「Garoon」





クラウド版 Garoonユーザーの

64%が

Microsoft 365を利用

※ 2023年Garoonユーザーアンケート

特徴 1 掲示板・社内ポータル・ファイル管理など情報共有に役立つ機能を搭載

Garoonのユーザー機能

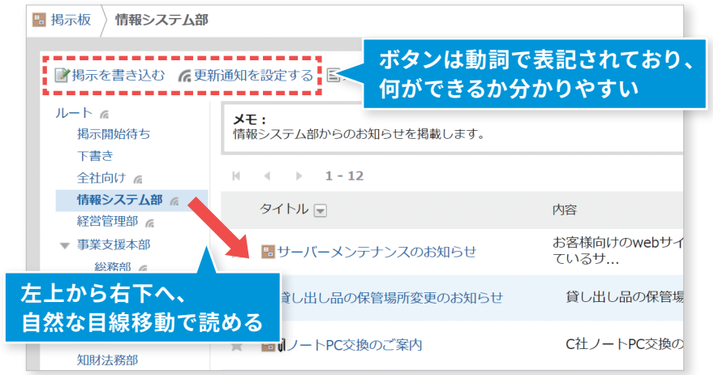
掲示板　ポータル　ファイル管理

スケジュール　施設予約　ワークフロー　メッセージ　電話メモ

and more

Garoonは掲示板・社内ポータル・ファイル管理など全社の情報共有に役立つ専用機能を複数搭載。用途ごとにシステムをいちから作り込む手間をかけずに、さまざまな形の情報共有をスムーズにします。

特徴 2 分かりやすいUIでITリテラシーを問わず利用できる



Garoonは自然な目線移動で操作できる画面設計や分かりやすいボタン文言にこだわって設計。ご利用中の方の9割以上が使いやすいと回答しています※。 ※ 2022年Garoonユーザーアンケート

特徴 3 分かりやすいアクセス権で運用負荷を軽減

Garoonは権限を設定するときに階層型の組織一覧から設定対象を探せるので、抜け漏れなく対象を探し出せます。また、それぞれの対象にどのような操作を許可・禁止しているのかが一目で分かるので、設定状況を直感的に把握できます。

特徴 4 テンプレートで手軽にポータルを作成

Garoonは全社の情報をまとめる「ポータル」を作成できます。全社向け・部署別など用途ごとのテンプレートをご用意しているので、「レイアウトを考えるのが大変」「デザインをイチから考える時間がない」といったお悩みを解決します。

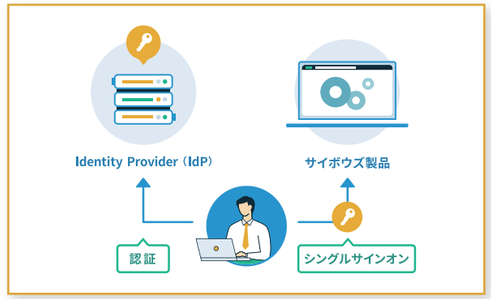
Microsoft 365とGaroonの連携性

複数のツールを使う場合、ユーザー管理やシングルサインオンの設定、ツール連携が気になることも。Garoonであれば連携製品やプラグイン、JavaScriptカスタマイズを利用して、Microsoft 365と連携できます。

AD連携・シングルサインオン

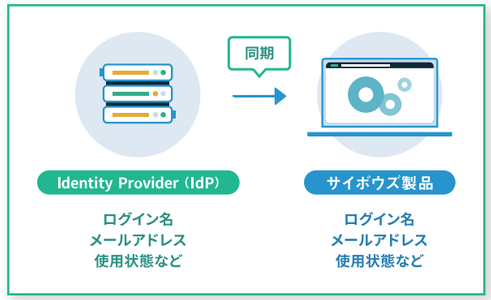
SAMLを使用した シングルサインオン

SAML認証機能を標準搭載しており、構築済みのIdentity Provider（IdP）とシングルサインオンを設定できます。



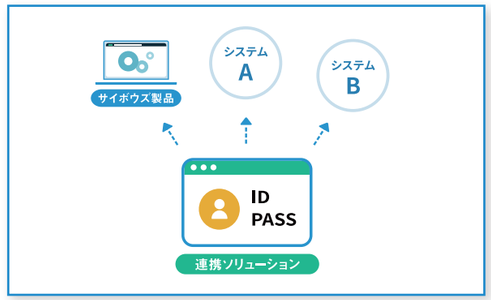
プロビジョニング機能による アカウント情報の同期

SCIMによるユーザープロビジョニングを標準搭載し、構築済みのIdentity Provider（IdP）で管理しているアカウント情報を同期できます。



連携ソリューションを 利用したアカウント連携

連携ソリューションを利用したシングルサインオンやアカウント連携が可能です。



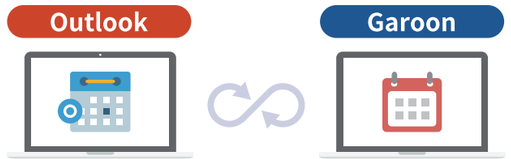
AD連携・シングルサインオンに関する詳細はサイボウズのクラウドサービスに関するサイトでご紹介しています。

https://www.cybozu.com/jp/account/

Outlook・Teams連携

OutlookとGaroonの双方向同期で二重管理の負担を解消

連携製品を使ってOutlookとGaroonの双方向同期が可能です。OutlookとGaroonの両方を使う必要のある場合でも、二重登録・更新の手間を省き、ダブルブッキングのリスクを低減します。



ガル助

OutlookとGaroon スケジュールの双方向同期が可能です。GUIで設定できる手軽さが特徴。Google カレンダーとGaroonの連携にも使えます。パッケージ版 Garoonにも対応。

ガル助
提供：株式会社ノベルワークス

PIMSYNC

OutlookとGaroon スケジュールの双方向同期が可能です。連携先としてサイボウズ OfficeやSFAツールなども選べます。パッケージ版 Garoonにも対応。

PIMSYNC
提供：株式会社セゾン情報システムズ

TeamsでのWeb会議をGaroonで一括管理

Garoonの操作だけでGaroonスケジュールへの予定の登録とTeamsでのWeb会議の登録ができます。スケジュール管理をGaroonで行い、Web会議をTeamsで行うという場合に便利です。

CROSSLink 365 Teams 連携

GaroonのスケジュールからTeamsの予定登録や参加ができるプラグイン。メールアドレスを使った社外ユーザーの招待もGaroonのスケジュール画面から行えます。※プラグイン機能はクラウド版 Garoonでのみご利用いただけます

CROSSLink 365 Teams連携
提供：クロス・ヘッド株式会社

Microsoft 365

Microsoft 365とGaroonの連携については特設ページでご紹介しています。

https://garoon.cybozu.co.jp/mtcontents/expand/alignment/ms365.html

事 例　YKアクロス株式会社様

「kintoneと連携できるからGaroon」
セット導入で情報共有基盤を内製化

YKアクロス株式会社は、総合化学メーカーであるデンカ株式会社の関連会社で、主に化学製品や鉄鋼原料他を取り扱う創業110年を超える老舗商社です。同社では社内のIT化を目的に、クラウド版 Garoonとkintoneをセットで導入しました。Garoonは情報共有やワークフローシステムとして、kintoneはGaroonで決裁後の書類の保管などに利用されています。

Microsoft製品を使う中でGaroonを導入した理由

同社は商談の情報をまとめるためのツールを探す中でサイボウズのkintoneを選定。
その後Garoonの導入を検討されました。

kintoneについてサイボウズに相談する中で、**Garoonでワークフローを電子化**できること、**kintoneと連携して便利に使える**ことを知ったからです。また、Garoonはワークフローだけでなく、スケジュールやポータル、ファイル管理などの機能も搭載しています。今回のIT化の目的を達成しつつ、管理工数を抑えるためになるべくツール数を増やしすぎずに、かつリーズナブルな利用料で導入したかったため、Garoonとkintoneを連携させて使うことに決めました。

元々Outlookをスケジューラーやメールとして利用していましたが、Microsoft製品への統一は候補に上がりませんでした。**社内ポータルにSharePointを利用した場合、自社開発のハードルが高く、ベンダーに依存してしまう例を見てきました。**そのため、Microsoft製品への統一は業務ツールの内製化という目的に合わないと判断しました。一方で、Garoonは簡単に設定・操作できるので、ポータルの作成・運用を内製化できます。製品検討の目的をふまえて、Garoonとkintoneを選びました。

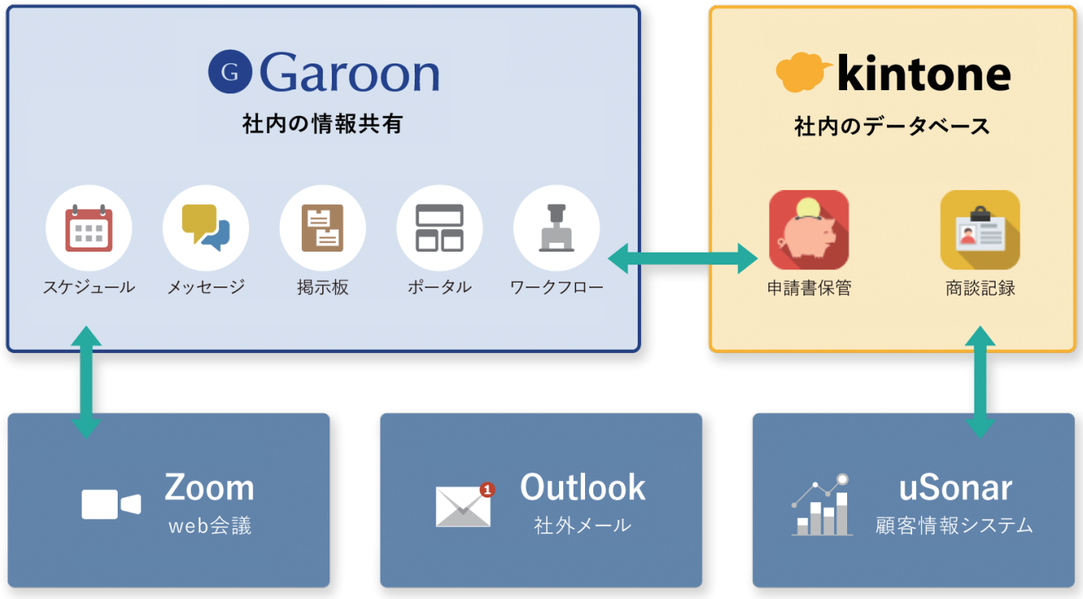
社内システムの全体像は？

Garoonを導入後も同社はMicrosoft 365を使い続け、両製品を併用する形をとっています。

WordなどのOffice系ソフトと、社外とのやりとり用の Outlookメールを利用しています。
スケジュールはGaroonを使っており、Outlookは使わなくなりました。

（Garoonのスケジュールを使うようになって）**予定を調整する際の候補日検索や、施設も含めた空き時間確認が簡単になった**と思います。社員からは「予定調整時に、予約で埋まっている施設がマーク付きで表示されるため、使用可能な施設が一目でわかって便利だ」という声も聞きました。

社内システムの全体像



詳しい事例はGaroonの製品サイトでご覧いただけます。
https://garoon.cybozu.co.jp/mtcontents/cases/yk-akros/

取材日：2022年11月17日

事 例　エスアールエス株式会社様

Teamsやkintoneとの連携で広がる活用
使い続ける理由はベストオブブリード

エスアールエス株式会社は、高所作業車・アタッチメント・ユニットハウスなど建設機械のレンタルを中心事業としており、建設機械レンタル業界最大手である株式会社アクティオのグループ会社でもあります。同社は2006年に全社の情報共有の場としてGaroonを導入。現在は社員約430名、全国の約65拠点で、クラウド版 Garoonとkintoneを利用しています。15年以上Garoonを使う中でTeamsとの連携やIDaaSの利用と、今なお活用の幅を広げています。

photo / KOBA

Microsoft 365とGaroonの使い分け

同社は以下のようにMicrosoft 365のTeams とGaroonを使い分けています。

	Garoon	Microsoft 365
スケジュール管理	Garoon スケジュール	
Web 会議		Microsoft Teams
ワークフロー	Garoon ワークフロー	
メール		Microsoft Exchange
社内コミュニケーション	Garoon メッセージ	Microsoft Teams
全社掲示・通達	Garoon 掲示板	
社内ポータル	Garoon ポータル	
アンケート		Microsoft Forms
ファイル共有		Microsoft SharePoint , Microsoft OneDrive
文書作成・表計算		Microsoft Word , Microsoft Excel

Microsoft 365のようなスイート製品に一本化するか、ベストオブブリード（業務最適化を目指して複数製品を組み合わせること）を目指すか、各企業で考え方は分かれると思います。Microsoft 365で必要な機能が揃っていると考える企業は一本化する手もあるでしょう。しかし**ワークフローと掲示板の存在、Garoonの社内浸透状況を見ると、Microsoft 365にうまく一本化するのは困難**に思えました。そのためスイート製品に完全に移行するのではなく、**ベストオブブリードを狙ってGaroonとMicrosoft 365を併用**しています。

複数のツールを併用するときのコストの考え方

複数のツールを併用するときのコストについて、どのようにお考えか伺いました。

コストというと悪いものと考えがちですが、**お金をかけてしっかり成果を出す**という考え方をしています。以前グループ会社に出向しているときに、売上に占めるIT支出の割合のベンチマークとして、国内外の企業と比較したことがあります。業種にもよりますが、当社を含め国内の一般企業はIT支出が少ない傾向にありました。そういった経験もあってIT支出が特段多いとは考えていません。コスト＝悪ではなく、お金をかけてしっかり成果を出すことを目指しています。会社としても新しいことへの挑戦を応援する意識が強いので、社風にも助けられています。

TeamsとGaroonの連携を活用

同社はプラグインを使ってMicrosoft 365のTeams とGaroonを連携させています。

Teamsは以前から一部で利用されていましたが、利用が本格化したのはコロナ禍になってからです。コロナ禍でTeamsを使ったWeb会議の必要性が高まり、新しく利用を始めた社員が多くいました。しかし**「Teamsの操作が難しい」「Web会議の開始時間になってもメンバーが揃わず、打ち合わせが始まるまで時間がかかる」**という混乱の声もありました。また、TeamsもWeb会議の予定を作成・管理するスケジューラーの機能を持っていますが、当社ではすでにGaroonでのスケジュール管理が定着していました。Web会議の利用を広げるために**業務のベースとして使い慣れたGaroonでWeb会議の予定や参加URLも管理したい。**そんなときにGaroonとTeamsを連携させるプラグイン（CROSSLink 365 Teams連携）を見つけたんです。

連携を導入したことで社員からは「使いやすい」と言ってもらえ、Web会議が社内に定着するにつれ、Web会議関連の問い合わせは少なくなりました。Web会議の定着によって各拠点から集まって開催していた支店長会議もオンラインになり、出張費や移動時間を削減できました。必要な時に、どこからでも簡単にWeb会議に参加できるので非常に便利です。

詳しい事例はGaroonの製品サイトでご覧いただけます。

https://garoon.cybozu.co.jp/mtcontents/cases/srs/

取材日：2022年6月27日

事 例　株式会社 明電舎様

約8000人の集合知活用に向けた情報共有基盤構築へ
刷新のポイントは拡張性

社会インフラを支える重電機器、水処理システム、産業システム機器など幅広い事業を手がける株式会社 明 電 舎では、2017年に社内のグループウェアを、サイボウズのGaroonとkintoneへと刷新。明電グループ約8000人の情報共有・ノウハウ基盤の整備に挑んでいます。14年間使った旧グループウェアからの移行プロジェクトでは、Garoonの連携カスタマイズ性の高さに注目しました。

導入の決め手は「他システム連携」と「導入までのスピード感」

2016年にグループウェアの移行を検討し始めた同社。当初からクラウド型のサービスを使うことを考えていたそうです。製品選定にあたり、Garoonを含めたいくつかのサービスを比較。2016年にMicrosoftのExchangeとOutlookの使用を開始していたため、グループウェア機能を当時のOffice 365に集約する案も当初はあったといいます。

SharePointをカスタマイズして以前と同じようなグループウェアを開発する、という方法も検討しましたが、それだと**結局自分たちで作らないといけない。**使い勝手や操作性を旧グループウェアと同じレベルに持っていくためにはかなりの工数がかかりますし、**メンテナンスコストや管理の複雑化**など、これまでと同じ課題が生まれてしまいます。今までスクラッチのグループウェアを運用してきた教訓として、自分たちでガリガリ作るのはもうやめよう、と判断しました。

スクラッチ開発も可能な体制がありながら、SharePointをカスタマイズして利用することは避け、既に完成されたグループウェアであるGaroonを利用することを選択されました。

まず早く入れたい、というのがありました。私たちが1から機能を考えるのではなく、**グループウェアの機能についてのノウハウは外から買って来てしまおう、そして早く活用しよう**と思っていました。サイボウズさんはこれまで多くの導入実績がありますので、グループウェアのノウハウについては信頼できました。

現在はOffice 365とクラウド版Garoonを併用されています。機能面で導入のポイントとなったのはポータル、そしてOffice 365を含めた他システムとの連携性でした。

以前のグループウェアでは、すべての社内システムへの入り口をポータルに集約していたため、それと同様のことができる必要がありました。また、当然既に利用を開始していた**Office 365やそのほかのシステムとの連携なども必要**でした。

GaroonにはREST API・JS API・カスタマイズ機能などが備わっているため他システム連携やカスタマイズがしやすい環境が整っています。またOutlookとGaroonのスケジュールを同期させるツールなど、パートナー企業が提供する連携製品が充実していることも評価のポイントだったそうです。

例えばPIMSYNCなどの連携ツールを使えばOutlookとGaroonのスケジュールを同期することもできます。そのようなツールがすでにある、というのが良かったですね。スケジュールや掲示板、ファイル管理などについても事前に検証し、旧グループウェアの操作性を損なうことなく導入できそうだと判断しました。

組織を横断した情報共有、ノウハウ基盤を作っていきたい

以前のグループウェアでは同じ部門のメンバーのスケジュールしか共有できなかったため、他部門とスケジュール調整は手間だったのですが、Garoonではどの社員の状況もがわかるので調整しやすくなりました。このような小さな改善を積み重ねれば、雑務にかける時間を減らし、本来やるべき仕事に集中することができます。
今は非公開で登録しているので予定の有無しかわかりませんが、公開で登録すれば予定の内容まで見られます。内容を見ながら調整する方がよりスムーズになるでしょう。抵抗がある社員もいるかもしれませんが、いずれは全員公開での運用も検討したいと考えています。

詳しい事例はGaroonの製品サイトでご覧いただけます。

https://garoon.cybozu.co.jp/mtcontents/cases/meidensha/

取材日：2019年2月1日

Garoonが気になったら まずはセミナーへ

他製品との比較や、移行の進め方などのテーマでセミナーを開催しています。ぜひご参加ください。

詳しくはこちら
https://garoon.cybozu.co.jp/lp/seminar/newlist/

グループウェアに 関する資料を見たい

Garoonの機能説明や移行プロジェクトの進め方などの資料を豊富にご用意しています。

詳しくはこちら
https://garoon.cybozu.co.jp/contents/

Garoonの操作を 試したい

30日間無料お試しまたは**オンラインデモ**

お客様専用の環境をご用意

デモデータ入りで手軽に体験

詳しくはこちら
https://garoon.cybozu.co.jp/trial/

サイボウズに 直接相談したい

サイボウズの導入相談窓口へお問い合わせください。機能の詳細説明、デモの依頼、ライセンスのご相談など幅広く承ります。

詳しくはこちら
https://garoon.cybozu.co.jp/consult/

cybozu サイボウズ株式会社

製品に関するお問い合わせ、お試し申込みは、以下のホームページで
https://garoon.cybozu.co.jp/

※サイボウズ、Cybozu、及びサイボウズのロゴマークはサイボウズ株式会社の登録商標です。
※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。
また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
個別の商標・著作物に関する注記については、こちらをご参照ください。
https://cybozu.co.jp/logotypes/trademark/

お問い合わせ先

© Cybozu,Inc.

GMS-001-230431　本カタログの記載事項は変更になる場合がございます。　2023年4月現在